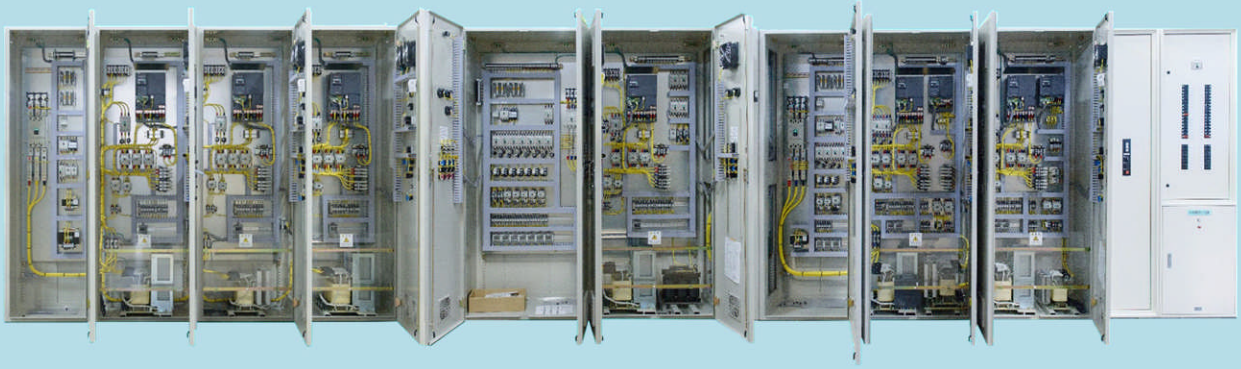
Dainichi

Dainichi

分電盤・制御盤・端子盤



株式会社大日製作所

信頼にお応えする　Dainichi 分電盤・制御盤・端子盤

大日製作所では，1937年（昭和12年）創業以来，お客様により良い製品をご提供できるよう，絶え間ない努力を続けています。

一貫生産体制が確立された当社工場からお客様の元へ，信頼とニーズにお応えした製品をお届けします。

1　板金工場

設計 CAD から図面情報を取り込み，オンラインでNC加工を行う**CAMシステム**を確立しています。
NC加工された鋼板は，ベンダー加工機，溶接ロボット等により，良質な箱体に組み上げられます。

住環境に配慮した防音設備，省エネで冷却効果の高い**クールトレンチ式換気システム**等，環境面でも大変優れた工場です。

2　塗装工場

カチオン電着＋粉体塗料による塗装システムを採用し，従来の溶剤塗装に比べて，優れた付着性，防食性，耐塩性，耐候性を有しています。
（塗装色及び仕上膜厚については4ページをご参照下さい）

使用して余った塗料は回収して再利用されます。排液は脱臭装置の廃熱を利用して蒸発させ，汚れた排水を工場から出さない**無排水システム**を構築しています。

3 組立工場

永年培われた製造ノウハウを標準化し，ベテランの技術力を若手技術者へと，日々継承しながら製品を組み上げています。
一本の配線に，お客様の**安全と安心への願い**を込めています。

4 品質マネジメントシステム

「お客様が満足し安心して使用していただける高品質な製品づくり」をモットーに，
国際標準化機構の定める**品質マネジメントシステム ISO9001：2008**の認証を
取得しています。

適用規格	ISO9001：2008
審査登録機関	インターテック・サーティフィケーション株式会社
認証取得日	1999年12月15日
認証登録範囲	制御機器，制御装置類及び受配電盤類の設計・開発及び製造，アフターサービス（メンテナンス・改造）
対象範囲	本社工場

塗装について

1）塗装色

下記の標準色2色，準標準色12色を取り揃えています。

	塗装色	マンセル記号	艶	色見本
標準色	C22−90B	2．5Y9／1	5分艶	
標準色	C25−70B	5Y7／1	5分艶	
準標準色	C22−90B	2．5Y9／1	7分艶	
準標準色	C25−70B	5Y7／1	7分艶	
準標準色	C22−90B	2．5Y9／1	全艶	
準標準色	C25−70B	5Y7／1	全艶	
準標準色	C57−60C	7．5BG6／1．5	5分艶	
準標準色	CN−70	N7	5分艶	
準標準色	C22−90D	2．5Y9／2	5分艶	
準標準色	C22−80D	2．5Y8／2	5分艶	
準標準色	C27−90B	7．5Y9／1	5分艶	
準標準色	C23−255	5YR2／1．5	5分艶	
準標準色	C15−20B	5YR2／1	5分艶	
準標準色	CN−85	N8．5	5分艶	

- 標準色，準標準色には，日本塗料工業会C版の色票番号に従い調色した塗料を採用しています。
- 上記以外の塗装色については，日本塗料工業会番号にてご用命下さい。
- 上記のマンセル記号は近似色を記載しています。
- 上記の色見本は，印刷やディスプレイの性質により実際の色とは多少ずれる場合がありますのでご了承下さい。

2）仕上膜厚

外面	50μm以上
内面	30μm以上

保護構造について

JIS，JEM，JEACの国内規格，一般社団法人 公共建築協会をはじめ，各省庁ならびに都道府県，各地方自治体の規格に適合した，優れた保護構造の各種盤を提供しています。
国際電気標準会議規格IEC60529ならびに日本工業規格JIS C0920では，危険箇所への接近，外来固形物の侵入，水の浸入に対する保護等級について定められています。

当社の盤は，下記の保護等級を有しています。

屋内形　　ＩＰ２ＸＣ　（扉を開いた状態ではＩＰ１ＸＢ）

屋外形　　ＩＰ２４Ｃ　（扉を開いた状態ではＩＰ１ＸＢ）

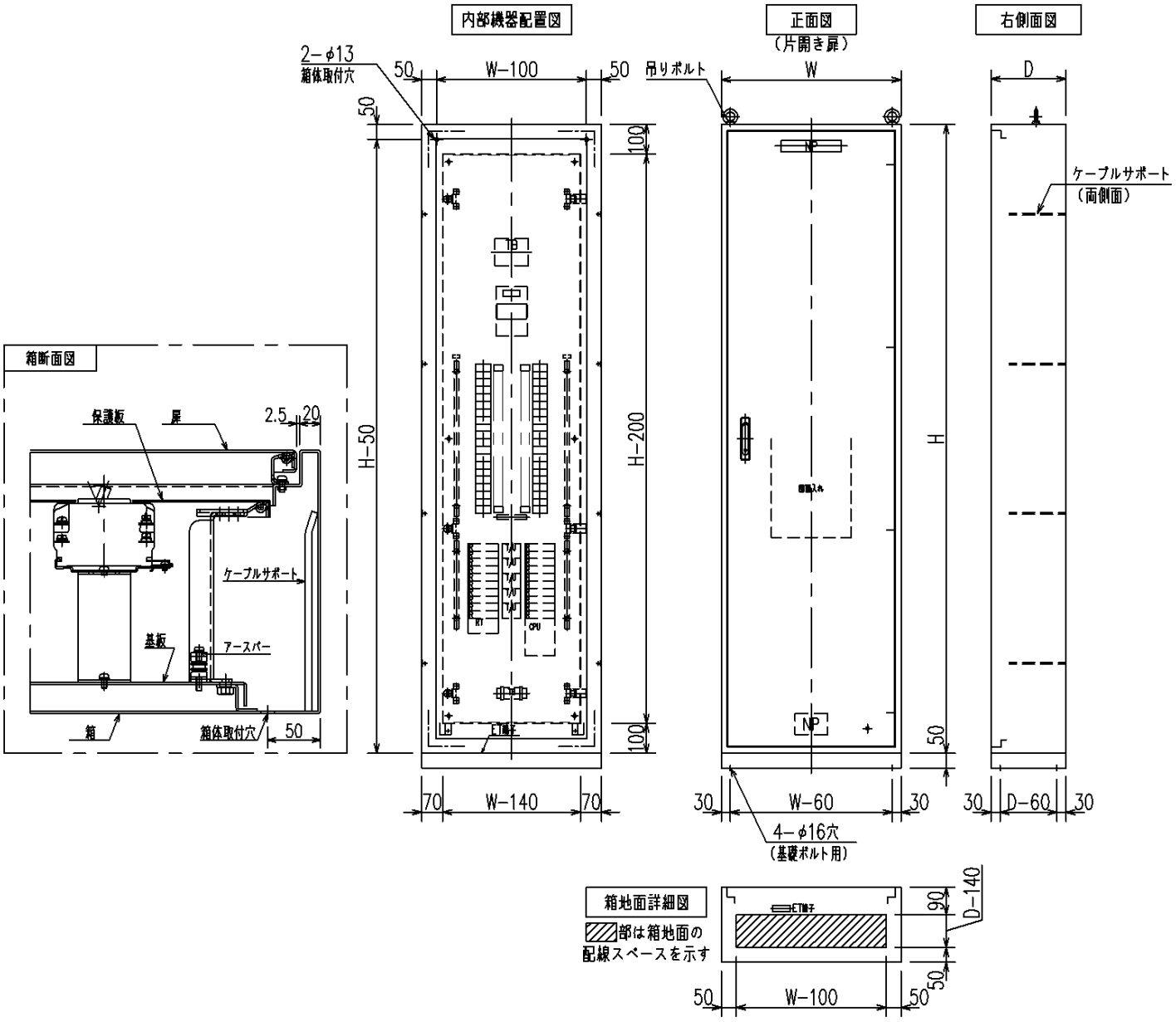
ＩＰ□□□

第一特性文字 外来固形物の侵入に対する保護		
0	無保護	無保護
1	直径50mm以上の外来固形物の侵入に対して保護されている。	手の甲が危険な部分へ接近しないよう保護されている。
2	直径12．5mm以上の外来固形物の侵入に対して保護されている。	指での危険な部分への接近に対して保護されている。
3	直径2．5mm以上の外来固形物の侵入に対して保護されている。	工具での危険な部分への接近に対して保護されている。
4	直径1．0mm以上の外来固形物の侵入に対して保護されている。	針金での危険な部分への接近に対して保護されている。
5	防塵形 粉塵が内部に侵入することを防止する。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しない。	
6	耐塵形 粉塵が内部に侵入しない。	
X	規定しない。	

第二特性文字 水の浸入に対する保護	
0	無保護
1	鉛直に滴下する水に対して保護されている。
2	15度以内で傾斜しても垂直に滴下する水に対して保護されている。
3	鉛直から60度以内の噴霧水による水によって有害な影響を受けない。
4	いかなる方向からの飛沫によっても有害な影響を受けない。
5	いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない。
6	いかなる方向からの暴噴流の水によっても有害な影響を受けない。
7	規定の圧力及び時間で水中に浸漬しても有害な影響を受けない。
8	IPX7より厳しい条件下で水中に沈めても有害な影響を受けない。
X	規定しない。

付加特性文字（オプション） 危険な箇所への接近に対する保護	
A	手の甲が危険な部分へ接近しないよう保護されている。
B	指での危険な部分への接近に対して保護されている。
C	工具での危険な部分への接近に対して保護されている。
D	針金での危険な部分への接近に対してい保護されている。

自立形分電盤



【標準寸法表】

キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量	実装回路参考
	W	H	D	箱	扉	(kg)	
VLD−061925	600	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	155	主幹200AF×1 分岐MCCB×15ELCB×15 リモコン数×20
VLD−071925	700	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	175	主幹200AF×1 分岐MCCB×15ELCB×15 リモコン数×20
VLD−081925	800	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	185	主幹200AF×1 分岐MCCB×15ELCB×15 リモコン数×20
VLD−111930	1100	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	265	主幹200AF×2 分岐MCCB×30ELCB×30 リモコン数×40
VLD−062125	600	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	165	主幹200AF×1 分岐MCCB×20ELCB×20 リモコン数×20
VLD−072125	700	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	185	主幹200AF×1 分岐MCCB×20ELCB×20 リモコン数×20
VLD−082125	800	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	205	主幹200AF×1 分岐MCCB×20ELCB×20 リモコン数×20
VLD−112130	1100	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	285	主幹200AF×2 分岐MCCB×40ELCB×40 リモコン数×40

※1 D=250,300を標準としています。

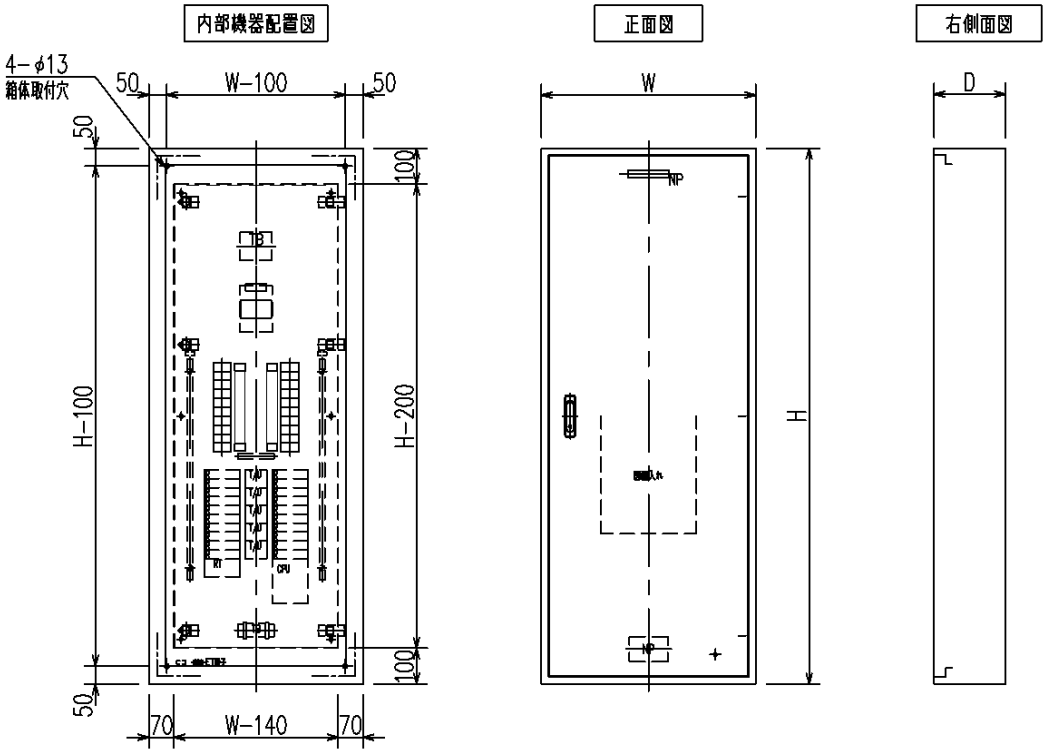
※2 W=800以下の場合　扉：片開き、保護板：片開きとなります。
W=800を超過の場合　扉：両開き、保護板：両開きとなります。

※3 EPS内設置の場合、上図の扉の無い構造となります。

※4 ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。

※5 概算重量は内器の重量を含みます。

壁掛形分電盤



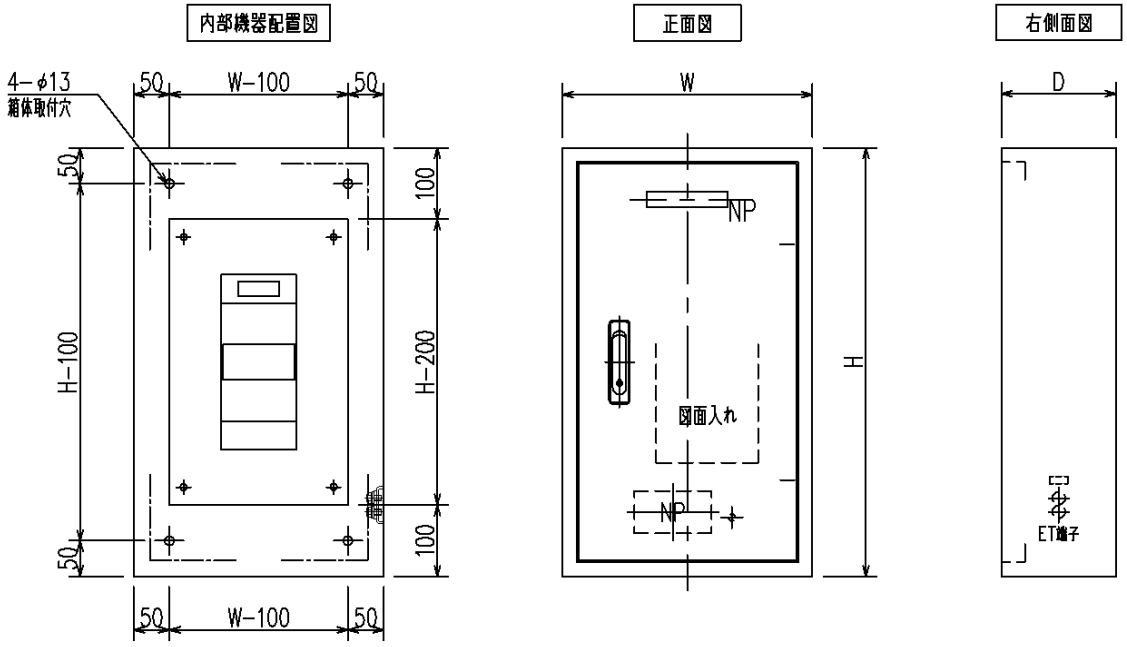
【標準寸法表】

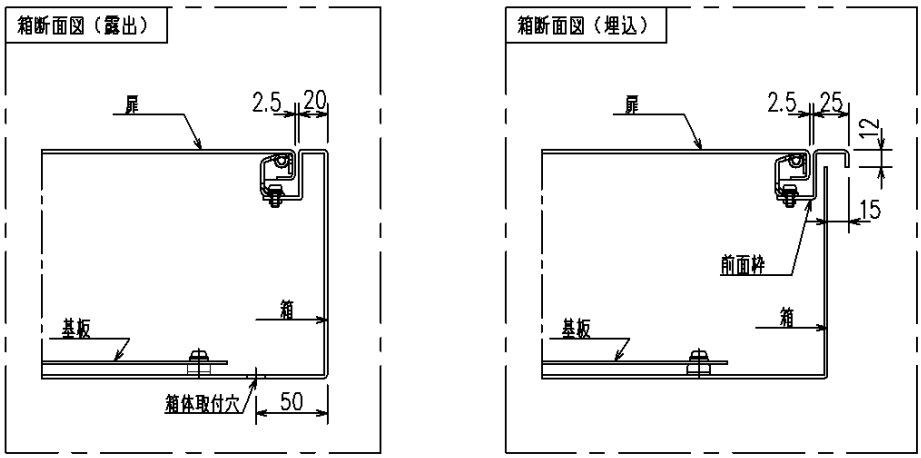
キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量（kg）	実装回路参考
	W	H	D	箱	扉		
VL−061020	600	1000	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	75	主幹50AF×1　分岐MCCB×8ELCB×8
VL−061220	600	1200	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	95	主幹100AF×1　分岐MCCB×15ELCB×15
VL−061420	600	1400	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	105	主幹100AF×1　分岐MCCB×10ELCB×10　リモコン数×12
VL−071020	700	1000	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	85	主幹50AF×1　分岐MCCB×8ELCB×8
VL−071220	700	1200	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	105	主幹100AF×1　分岐MCCB×15ELCB×15
VL−071420	700	1400	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	115	主幹100AF×1　分岐MCCB×10ELCB×10　リモコン数×12

※1　ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。

※2　概算重量は内器の重量を含みます。

開閉器盤





【標準寸法表】

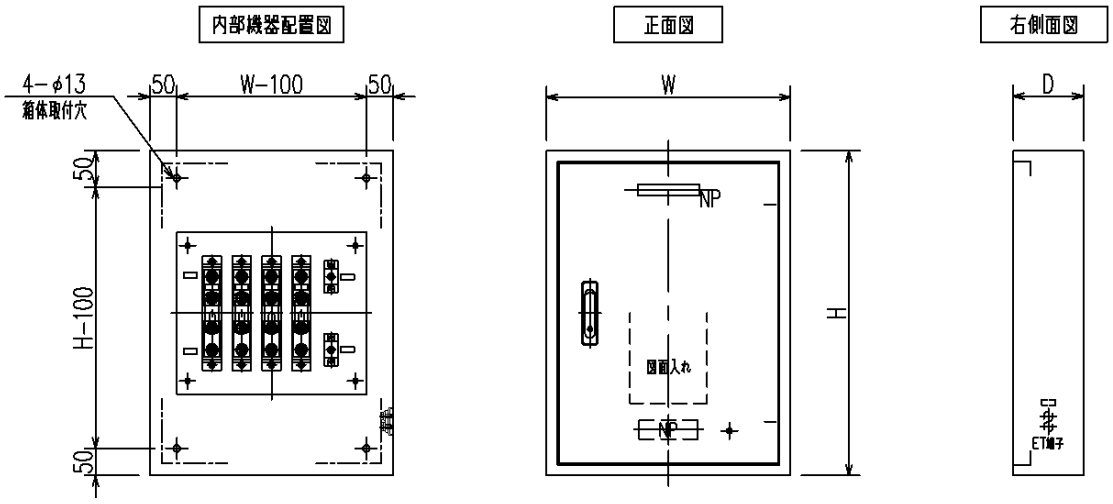
キャビネット 型式	ブレーカ 容量	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量 (kg)
		W	H	D	箱	扉	
VIM−051	50AF ×1	250	450	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	15
VIM−101	100AF×1	300	550	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	25
VIM−201	225AF×1	350	700	160	t1.6SPHC	t1.6SPHC	35
VIM−052	50AF ×2	350	450	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	25
VIM−102	100AF×2	350	550	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	30
VIM−202	225AF×2	400	700	160	t1.6SPHC	t1.6SPHC	35

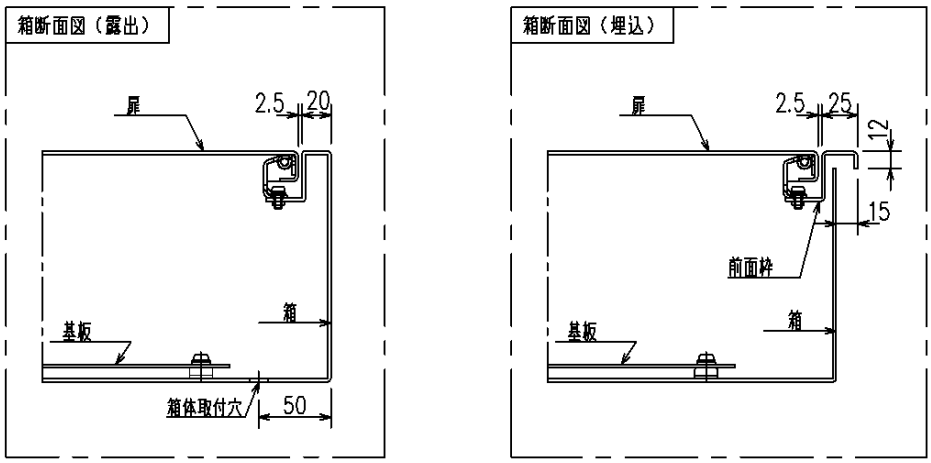
※1 ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。

※2 概算重量は内器の重量を含みます。

※3 基板はt2.3SPHCとします。

接地端子盤





【標準寸法表】

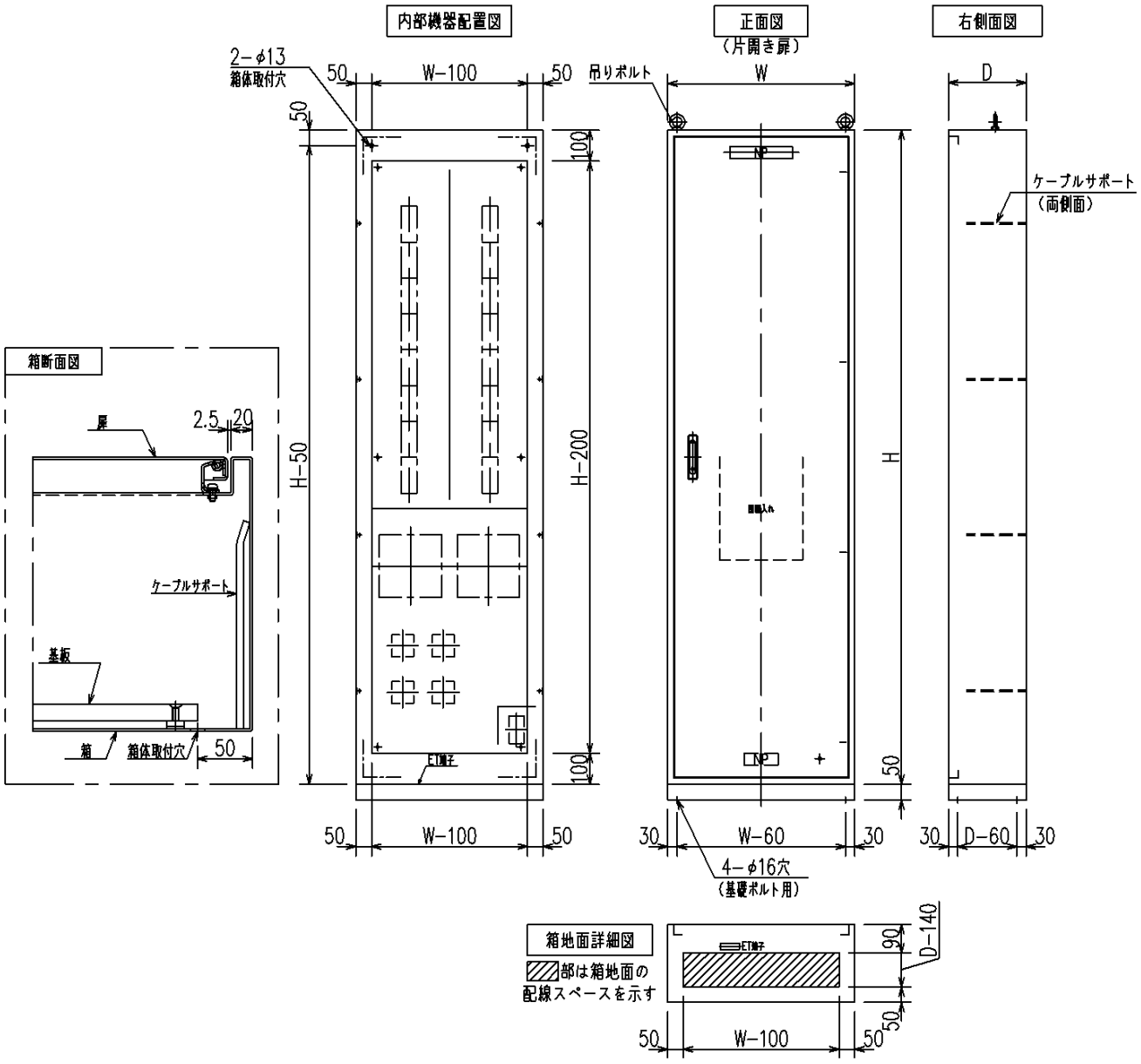
キャビネット型式	端子数	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量 (kg)
		W	H	D	箱	扉	
VI-E2P	端子2組＋測定用1組	350	600	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	25
VI-E3P	端子3組＋測定用1組	400	600	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	30
VI-E4P	端子4組＋測定用1組	450	600	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	35
VI-E5P	端子5組＋測定用1組	500	600	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	40
VI-E6P	端子6組＋測定用1組	550	600	130	t1.6SPHC	t1.6SPHC	45

※1 ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。

※2 概算重量は内器の重量を含みます。

※3 基板はt2.3SPHCとします。

自立形端子盤

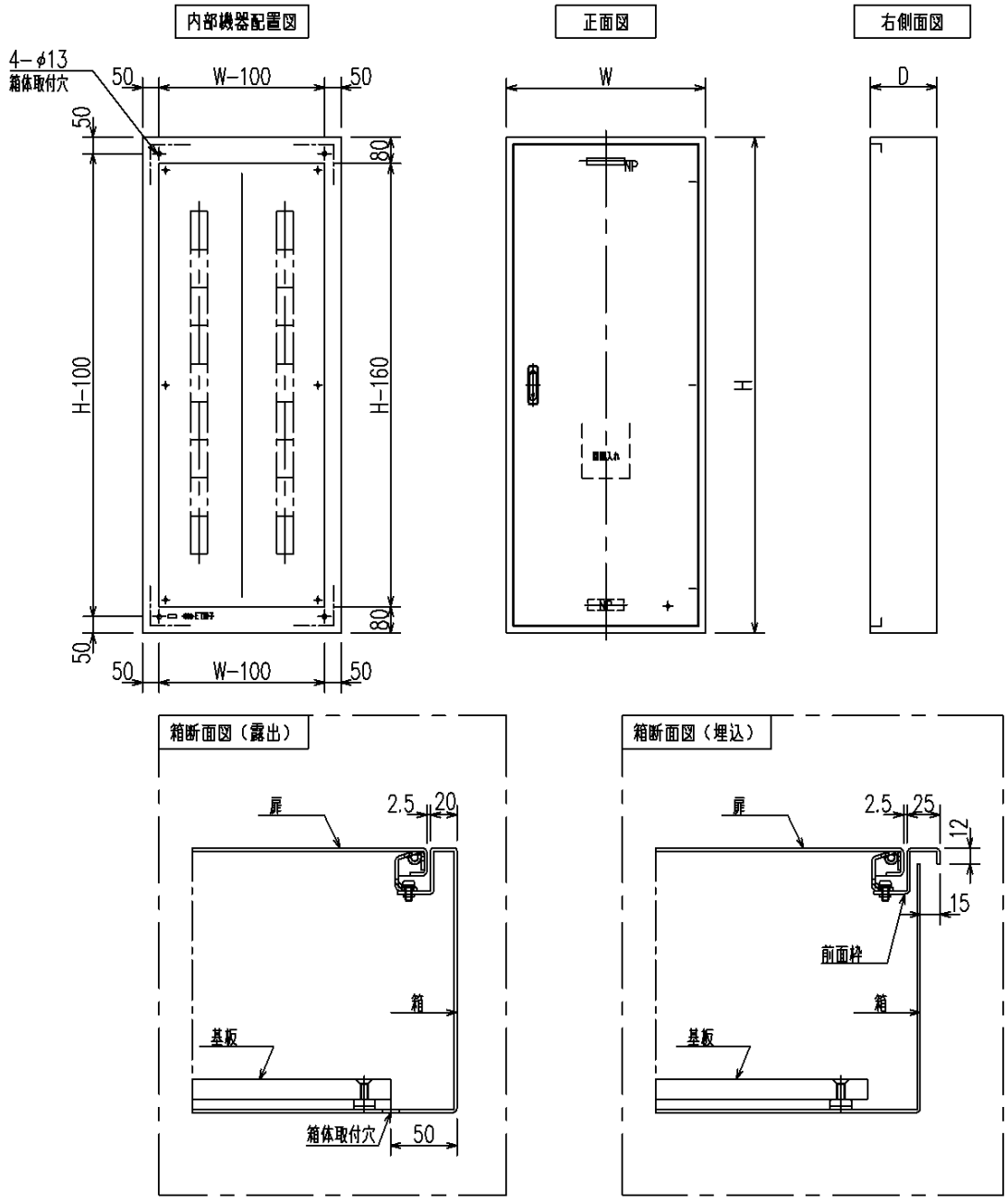


【標準寸法表】

キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量 (kg)	内部機器参考
	W	H	D	箱	扉		
ILD−061925	600	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	105	端子60P×2　テレビ機器 BS×2 分配器×4 コンセント×1
ILD−081925	800	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	125	端子60P×3　テレビ機器 BS×2 分配器×6 コンセント×1
ILD−111925	1100	1900	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	165	端子70P×4　テレビ機器 BS×2 分配器×4 コンセント×1
ILD−062125	600	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	115	端子80P×2　テレビ機器 BS×2 分配器×4 コンセント×1
ILD−082125	800	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	135	端子100P×2　テレビ機器 BS×2 分配器×4 コンセント×1
ILD−112125	1100	2100	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	175	端子70P×4　テレビ機器 BS×2 分配器×4 コンセント×1

※1 W=800以下の場合　扉：片開きとなります。
W=800を超過の場合　扉：両開きとなります。
※2 ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。
※3 概算重量は箱・扉・ベース・基板のみです。

壁掛形端子盤



【標準寸法表】

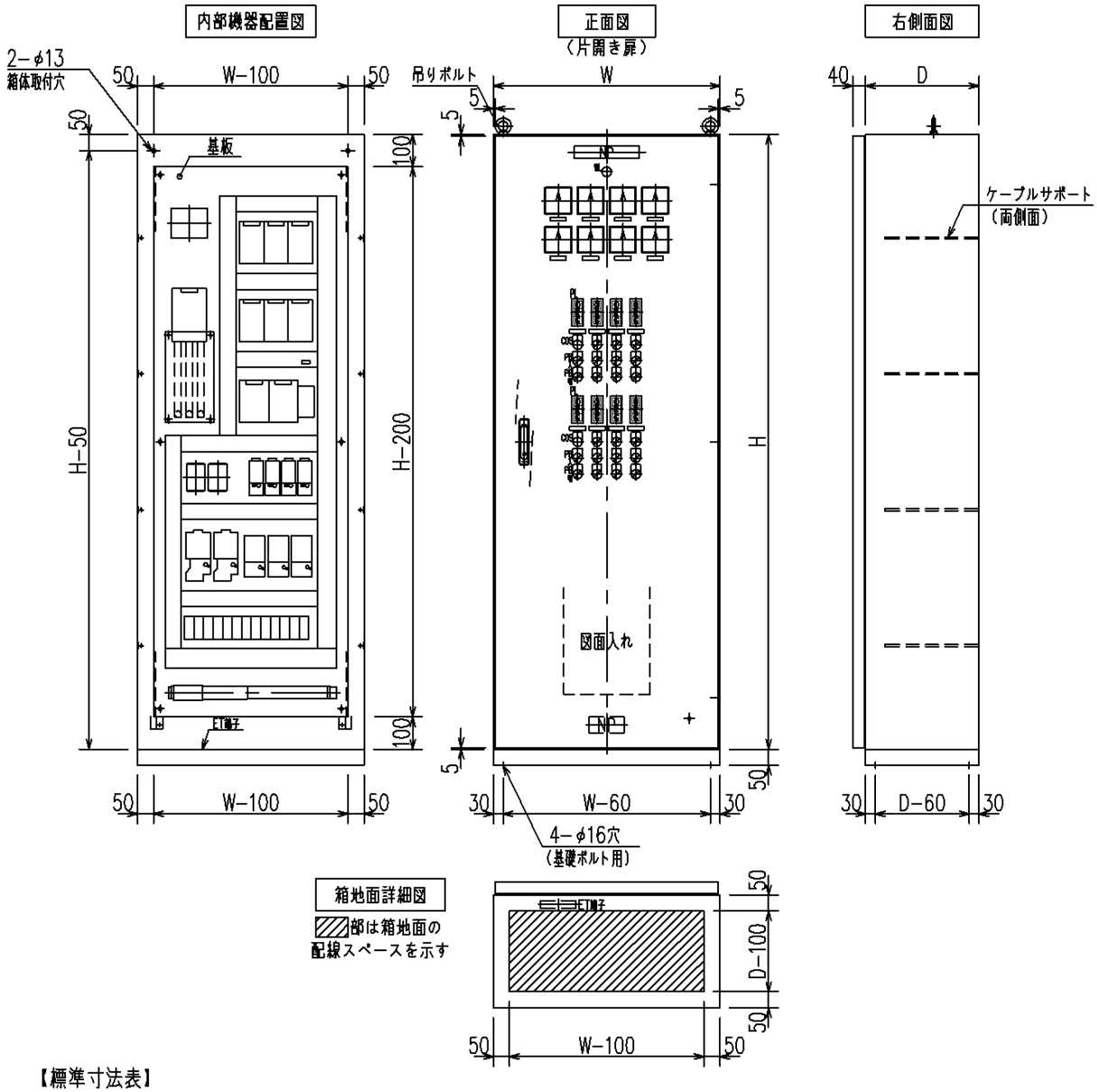
キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量（kg）	内部機器参考
	W	H	D	箱	扉		
VIT-061016	600	1000	160	t2.3SPHC	t2.3SPHC	60	端子50P×2
VIT-061216	600	1200	160	t2.3SPHC	t2.3SPHC	70	端子60P×2
VIT-061416	600	1400	160	t2.3SPHC	t2.3SPHC	75	端子70P×2
VIT-081020	800	1000	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	75	端子50P×3
VIT-081220	800	1200	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	85	端子60P×3
VIT-081420	800	1400	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	95	端子50P×3　テレビ機器 BS×1 分配器×2 コンセント×1
VIT-111220	1100	1200	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	115	端子60P×4
VIT-111420	1100	1400	200	t2.3SPHC	t2.3SPHC	125	端子50P×4　テレビ機器 BS×2 分配器×2 コンセント×1

※1 W=800以下の場合　扉：片開きとなります。
W=800を超過の場合　扉：両開きとなります。

※2 ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。

※3 概算重量は箱・扉・基板のみです。

自立形制御盤

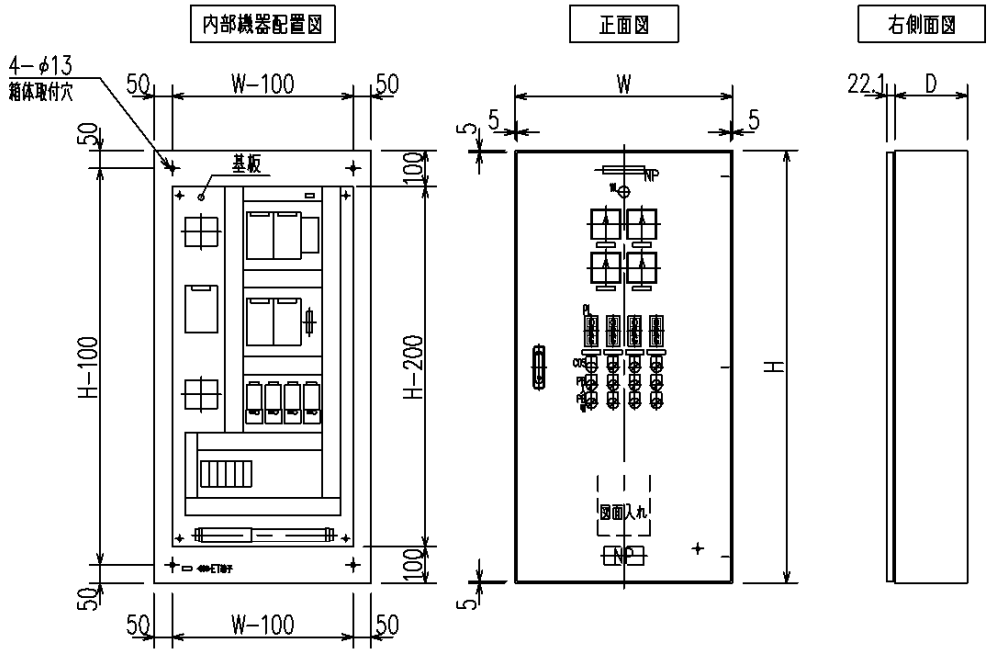


【標準寸法表】

キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量（kg）	実装回路参考
	W	H	D	箱	扉		
MRK40-061930	600	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	150	主幹200AF×1　直入れ×6回路
MRK40-071930	700	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	160	主幹200AF×1　直入れ×8回路
MRK40-081930	800	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	170	主幹200AF×1　直入れ×10回路
MRK40-111930	1100	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	240	主幹400AF×1　直入れ×16回路
MRK40-121930	1200	1900	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	250	主幹400AF×1　直入れ×18回路
MRK40-062130	600	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	160	主幹200AF×1　直入れ×8回路
MRK40-072130	700	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	170	主幹200AF×1　直入れ×10回路
MRK40-082130	800	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	180	主幹200AF×1　直入れ×12回路
MRK40-112130	1100	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	250	主幹400AF×1　直入れ×18回路
MRK40-122130	1200	2100	300	t2.3SPHC	t2.3SPHC	260	主幹400AF×1　直入れ×20回路

※1　D=250,300,350,400を標準としています。
※2　W=800以下の場合　　扉は片開きとなります。
　　W=800を超過の場合　扉は両開きとなります。
※3　ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。
※4　概算重量は内器の重量を含みます。

壁掛形制御盤



【標準寸法表】

キャビネット型式	箱寸法（mm）			使用鋼材		概算重量（kg）	実装回路参考
	W	H	D	箱	扉		
MRK−060625	600	600	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	50	主幹50AF×1　直入れ×1回路
MRK−060825	600	800	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	60	主幹50AF×1　直入れ×2回路
MRK−061025	600	1000	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	75	主幹50AF×1　直入れ×4回路
MRK−061225	600	1200	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	85	主幹100AF×1　直入れ×4回路
MRK−061425	600	1400	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	95	主幹100AF×1　直入れ×6回路
MRK−070625	700	600	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	60	主幹50AF×1　直入れ×2回路
MRK−070825	700	800	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	70	主幹50AF×1　直入れ×3回路
MRK−071025	700	1000	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	85	主幹100AF×1　直入れ×4回路
MRK−071225	700	1200	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	95	主幹100AF×1　直入れ×6回路
MRK−071425	700	1400	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	105	主幹100AF×1　直入れ×8回路
MRK−080625	800	600	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	70	主幹100AF×1　直入れ×2回路
MRK−080825	800	800	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	80	主幹100AF×1　直入れ×4回路
MRK−081025	800	1000	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	100	主幹100AF×1　直入れ×6回路
MRK−081225	800	1200	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	110	主幹200AF×1　直入れ×5回路
MRK−081425	800	1400	250	t2.3SPHC	t2.3SPHC	120	主幹200AF×1　直入れ×6回路

※1　ハンドルは、スイングハンドル（No.0200）を使用します。
※2　概算重量は内器の重量を含みます。

ご使用に際しまして

1．注意事項

1）使用範囲

納入仕様書，取扱説明書に記載された内容を精読して定格仕様の範囲で正しくご使用下さい。
高温，過度の水蒸気，油蒸気，煙，塵埃，塩分，溶剤，酸，アルカリ，引火性ガス，腐食性ガス，振動，衝撃等の過酷な環境でのご使用は避けて下さい。

2）使用上の注意

⚠ 警告　　死亡または重症を招く恐れがあります

a．保守・点検・改修作業の際は，必ず電源や信号をOFFにしてから行って下さい。感電や不用意な動作の恐れがあります。
b．内部の点検・操作は，必ず電気工事業者または専門知識のある方が行って下さい。有資格者以外の電気工事は，法律で禁止されています。
c．充電部には，手を触れないで下さい。通電中は，保護板を外さないで下さい。感電の恐れがあります。
d．換気扇等の回転体には，手を触れないで下さい。巻き込まれ事故の恐れがあります。
e．導電部の接続ネジは，適正な締付トルクまたは機器推奨締付トルクで確実に締め付けて下さい。発熱，発火，欠損による機器故障等の原因となります。
f．扉を開いて作業する際は，突風等にご注意下さい。
g．電気室のドアは必ず施錠し，鍵は関係者以外が持ち出せないように管理して下さい。

⚠ 注意　　軽傷，中程度の傷害，物的損害，性能・機能を損なう恐れがあります

a．保護継電器等の保護装置は，施工完了後，正しく整定して下さい。
b．無断で改造等をしたことにより発生した事故については，責任を負いかねます。改造の必要がある場合は，必ずお問い合わせ下さい。
c．試験中は現場を離れないで下さい。インターロック等が強制解除されており危険です。試験終了後は，速やかに本来の設定に戻して下さい。
d．不具合が発生した場合は，速やかに電気主任技術者または専門業者に連絡して下さい。
e．事故遮断した遮断器の再投入は，事故区間を切り離すか原因が取り除かれたことを確認後，実施して下さい。
f．ヒューズが溶断した場合は，原因を取り除いた後，必ず同容量，同形式のものと交換して下さい。同一回路で複数使用のヒューズは，1本の溶断でも全て取り替えて下さい。
g．使用機器の中には有害物質を含む場合があります。廃棄には注意して下さい。
h．本製品には有寿命部品が使用されています。部品の故障による事故を防止するため，必ず定期点検を実施して下さい。
i．定期的に交換する必要のある機器（バッテリー等）は，適宜交換を実施して下さい。
j．碍子等の絶縁材料及び機器の絶縁部分は，定期的に清掃して下さい。
k．定期点検が必要な機器は，機器の取扱説明書に従って点検を実施して下さい。

3）施工上の注意

⚠ 警告　　死亡または重症を招く恐れがあります

a．施工の際は，必ず電源や信号をOFFにしてから行って下さい。感電や不用意な動作の恐れがあります。
b．有資格者以外の電気工事は，法律で禁止されています。関連法規を順守して，正しい工事を行って下さい。
c．通電中は，充電部には手を触れないで下さい。感電の恐れがあります。
d．導電部の接続ネジは，適正な締付トルクまたは機器推奨締付トルクで確実に締め付けて下さい。発熱，発火，欠損による機器故障等の原因となります。
e．配線には必ず適合した電線，圧着端子を使用して下さい。
f．接地線は，接地端子に確実に接続して下さい。
g．扉を開いて作業する際は，突風等にご注意下さい。
h．配線完了時には，全ての導電部の接続ネジを増し締めし，確実に接続してあることを確認して下さい。

⚠ 注意　　軽傷，中程度の傷害，物的損害，性能・機能を損なう恐れがあります

a．移送，据付時の吊上げ作業は，正しい手順，方法を守って，十分注意して行って下さい。落下や転倒による怪我，故障の恐れがあります。
b．箱体，チャンネルベースの据付は，取付面の水平を確認して設置して下さい。固定は図面に指示されている箇所全てを，正しい太さのボルトにて確実に固定して下さい
c．保護継電器等の保護装置は，施工完了後，正しく整定して下さい。
d．タイマ等の機器の設定は，関連要素を確認の上，正しく設定して下さい。設定が間違っていると誤動作の原因となります。
e．無断で改造等をしたことにより発生した事故については，責任を負いかねます。改造の必要がある場合は，必ずお問い合わせ下さい。
f．施工時に取り外した端子カバー，保護カバー，相間バリヤ等は，必ず元のとおりに取付けて下さい。
g．不具合が発生した場合は，速やかに電気主任技術者または専門業者に連絡して下さい。
h．換気口は安全のため，塞がないように設置して下さい。また，十分な保守点検スペースを確保して下さい。
i．通線穴加工時，内部機器に切粉やゴミが侵入しないよう，養生等の処理を行って下さい。

2. 製品の保証について

1）保証期間

納入品の保証期間は，ご注文のご指定場所に納入後1ヶ年とさせていただきます。

2）保証範囲

上記保証期間中に当社の責により故障を生じた場合は，

a）修理に必要な代替部品・部材の提供

b）ご使用場所での修理

c）製品をご返却いただいての修理

の何れかを，当社の指定する方法にて実施させていただきます。

尚，保証とは納入品単体の保証を意味し，納入品の故障により誘発される貴社あるいは貴社取引先における機会損失，損害，当社製品以外の損傷，交換のための費用，その他業務に対する補償等については，保証期間内外を問わず，保証の範囲外とさせていただきます。

また，次の項目に該当する場合は，この保証の対象範囲から除外させていただきます。

a. 不適当な使用，条件，環境，取扱などによる場合。

b. 故障の原因が納入品以外の事由による場合。

c. 当社以外による改造または修理による場合。

d. 納入品本来の使い方以外の使用による場合。

e. 契約時あるいは当社出荷時に実用化されていた技術では予見することが不可能な現象による場合。

f. 天災，災害など当社側の責ではない原因による場合。

g. 当社側の責ではない異常電圧，ノイズ等の外的要因による場合。

h. 受け渡し後の落下，衝撃等，お客様の取扱が適正でないことによる場合。

i. 有寿命部品および消耗部品。

3）サービスの範囲

納入品の価格には，技術者派遣等のサービス費用は含んでおりません。次の場合は別途に費用を申し受けます。

①取付け調整指導および試運転立会い。

②保守点検，調整および修理。

③技術指導および技術教育。

④一次故障診断。

4）適用範囲

以上の内容は，日本国内でのご使用を前提としております。日本国外でのご使用に関しましては，当社営業担当者までご相談下さい。

営業品目

配電盤
- 高低圧各種スイッチギヤおよびコントロールギヤ
- 配電盤・中央監視盤・グラフィック盤
- 推奨・認定キュービクル・認定耐熱形配電盤
- キュービクル式受変電設備・高低圧受配電盤

各種制御盤・監視盤

分電盤
- 各種分電盤・認定耐熱形分電盤・端子盤

電子応用製品
- 電子応用機械器具・電子回路
- 各種生産システム・制御装置・制御器・監視装置

各種押しボタン始動スイッチ・その他各種制御開閉器

電気磁気測定器
- 電流計・電圧計・検出器

電気通信機械器具
- 搬送機械器具・ケーブル搬送機械器具・表示灯
- 絶縁用ゴム製品

電気工事及び保守機械器具設置工事

電子計算機の修理及び保守

電子計算機のプログラムの設計、作成及び保守

電気に関する研究

各種デザインの考案

ダイナ Daina Dainichi

いずれも上記営業品目に対する全ての技術，製品の
信頼のブランド（登録商標）です

株式会社 大日製作所

本　　社 〒921-8577 石川県野々市市扇が丘 1 番 1 号
TEL 076-248-1161（代） FAX 076-248-1164
URL http://www.dainichi-ss.jp/
MAIL hon@dainichi-ss.jp

ご用命はお近くの支店へお願いいたします

東京支店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1 丁目 4 番 8 号
TEL 03-3552-8828（代）FAX 03-3552-8829
MAIL tokyo@dainichi-ss.jp

大阪支店 〒540-0039 大阪市中央区東高麗橋 4 番 3 号
TEL 06-6942-3201（代）FAX 06-6942-3204
MAIL osaka@dainichi-ss.jp

神戸支店 〒651-0085 神戸市中央区八幡通 3 丁目 1 番 19 号
TEL 070-242-7201（代）FAX 070-242-7200
MAIL koube@dainichi-ss.jp

名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄 5 丁目 10 番 8 号
TEL 052-251-1738（代）FAX 052-251-1739
MAIL nagoya@dainichi-ss.jp

金沢支店 〒921-8163 金沢市横川 3 丁目 165
TEL 076-280-0101（代）FAX 076-280-0366
MAIL kanazawa@dainichi-ss.jp

富山支店 〒930-0083 富山市本町 6 番 20 号
TEL 076-442-1511 FAX 076-442-1512
MAIL toyama@dainichi-ss.jp

本カタログの記載内容は予告なく変更する場合がございますので，予めご了承下さい。ご注文の際には必ず最新の情報をご確認下さい。

CAT30002-1504